藤田進一郎（ふじた しんいちろう）　新聞記者、社會學者。明治十八年一月十一日和歌山縣生れ（一八八五ー）。明治四十一年早稲田大學文學部英文科卒。在學中、級友若山牧水等六名と北斗會を結成、回覧雑誌『北斗』を作るなどした。『朝日新聞』記者、論説委員を経て關西大學教授となり、社會學、新聞學を講じた。

譯書に、ビエール、ノーソン（ノトン）著『兇獨』（大正八年一月二十五日精華書樓・慶文堂書店）。著書に『一記者の頭』（昭和四年九月十五日大阪屋號書店）、『思想と生活』（昭和十一年十月一日京都・人文書院）等。

陸軍大將正三位勲一等功二級 一戸大將閣下題字
陸軍大將正四位勲一等功三級 大島健一閣下題字
白耳義國日本全權公使伯爵 ド・ラ・フアイユ序文
白耳義國神戸領事 エミル・カスタール序文
白耳義國 ピエール・ノーソン原著述
早稲田文學士 藤田進一郎譯著述
兇獨
兇獨
藤田進一郎
一記者の頭
藤田進一郎著